

大学番号：私10

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

届出

白百合女子大学 人間総合学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人白百合学園
平成28年5月1日現在

目次

人間総合学部

<児童文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

<発達心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	28
2. 授業科目の概要	32
3. 施設・設備の整備状況、経費	38
4. 既設大学等の状況	39
5. 教員組織の状況	41
6. 留意事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

<初等教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	55
2. 授業科目の概要	59
3. 施設・設備の整備状況、経費	66
4. 既設大学等の状況	67
5. 教員組織の状況	69
6. 留意事項等に対する履行状況等	80
7. その他全般的事項	81

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(シライ スミコ) 白井 澄子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 児童文化学科 学士(児童文化学)	4年	50人	- 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	50 (-) [-]		1.36倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	218 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	214 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	135 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	68 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.36			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] 68	[-] -	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] 68	[-] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	68人	0人	平成28年度	0人	0人		0 %
合計	68人	0人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間総合学部 児童文化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
宗 教 学 科 目	キリスト教学Ⅰ	1通	2									兼4
	キリスト教学Ⅱ	2通	2									兼4
	宗教学ⅠB	3通		2								兼1
	宗教学ⅠC	3通		2								兼1
	宗教学ⅠD	3通		2								兼1
	宗教学ⅠE	3通		2								兼1
	宗教学ⅠF	3通		2								兼1
	宗教学ⅠG	3通		2								兼1
	宗教学ⅠH	3通		2								兼1
	宗教学ⅠI	3通		2								兼1
	宗教学ⅠJ	3通		2								兼1
	宗教学ⅠK	3通		2								兼1
	宗教学ⅠL	3通		2								兼1
	宗教学ⅠN	3通		2								兼1
	宗教学ⅠP	3通		2								兼1
	宗教学ⅠQ	3通		2								兼1
	宗教学ⅠR	3通		2								兼1
	宗教学ⅠS	3通		2								兼1
	宗教学ⅠT(キリスト教的教育実践法)	3通		2								兼1
	宗教学ⅠX	3通		2								兼1
	宗教学ⅠY	3通		2								兼1
	宗教学ⅠZ	3通		2								兼1
	宗教学ⅡB	4通		2								兼1
	宗教学ⅡC	4通		2								兼1
	宗教学ⅡD	4通		2								兼1
	宗教学ⅡE	4通		2								兼1
	宗教学ⅡF	4通		2								兼1
	宗教学ⅡG	4通		2								兼1
	宗教学ⅡH	4通		2								兼1
	宗教学ⅡI	4通		2								兼1
	宗教学ⅡJ	4通		2								兼1
	宗教学ⅡK	4通		2								兼1
	宗教学ⅡL	4通		2								兼1
	宗教学ⅡN	4通		2								兼1
	宗教学ⅡP	4通		2								兼1
	宗教学ⅡQ	4通		2								兼1
	宗教学ⅡR	4通		2								兼1
	宗教学ⅡS	4通		2								兼1
	宗教学ⅡT(キリスト教的教育実践法)	4通		2								兼1
	宗教学ⅡX	4通		2								兼1
宗教学ⅡY	4通		2								兼1	
宗教学ⅡZ	4通		2								兼1	
人間交流力構築演習A	2・3・4前		2									兼1
人間交流力構築演習B	2・3・4後		2									兼1
ルカ福音書講読演習A	2・3・4前		2									兼1
ルカ福音書講読演習B	2・3・4後		2									兼1
宗教と文学・思想演習A	2・3・4前		2									兼1
宗教と文学・思想演習B	2・3・4後		2									兼1
いのちと家族演習A	2・3・4前		2									兼1
いのちと家族演習B	2・3・4後		2									兼1

共通科目	文化と人間	1-2-3-4通	4								兼1	
	哲学	1-2-3-4通	4								兼1	
	現代思想 I	1-2-3-4前 1-2-3-4後	2								兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	現代思想 II	1-2-3-4後	2								兼2	
	世界の中の日本思想	1-2-3-4通	4								兼1	
	美学	1-2-3-4通	4								兼1	
	美術史	1-2-3-4通	4								兼1	
	神話の世界A	1-2-3-4前	2								兼1	
	神話の世界B	1-2-3-4前	2								兼1	
	神話学入門 I	1-2-3-4前	2								兼1	
	神話学入門 II	1-2-3-4後	2								兼1	
	コンピュータ文学研究A	1-2-3-4通	4								兼1	
	コンピュータ文学研究B	1-2-3-4通	4								兼1	
	教養としての日本語	1-2-3-4後 2-3-4後	2								兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	日本語を磨く(読解力を養う)	1-2-3-4前後	2								兼2	
	日本語を磨く(文章力を養う)	1-2-3-4前後	2								兼2	
	美しい日本語を話す(基礎)	1-2-3-4前 1-2-3前後	2								兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	美しい日本語を話す(実践)	1-2-3-4前後 2-3-4前後	2								兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	コミュニケーションのための日本語	1-2-3-4前後 1-2-3-4後	2								兼2	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	日本中世文化史	1-2-3-4通	4								兼1	
	日本近代文化史	1-2-3-4通	4								兼1	
	日本の外交と社会史	1-2-3-4前後	2								兼1	
	西洋史 I	1-2-3-4前	2								兼1	
	西洋史 II	1-2-3-4後	2								兼1	
	歴史からみた現代	1-2-3-4後	2								兼1	
	豊かさの中の経済	1-2-3-4前	2								兼1	
	暮らしと現代経済	1-2-3-4後	2								兼1	
	政治学A	1-2-3-4前	2								兼1	
	政治学B	1-2-3-4前	2								兼1	
	憲法	1-2-3-4前後	2								兼1	
	法とは何か	1-2-3-4前 1-2-3-4後	2								兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	女性と社会A	1-2-3-4通	4								兼1	
	男女共同参画と政策	1-2-3-4通	4								兼1	
	犯罪学概論	1-2-3-4後 1-2-3-4前	2								兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	女性と法	1-2-3-4前	2								兼1	
	子どもの権利と国際社会	1-2-3-4通	4								兼1	
	ボランティア・キャリア体験 I	1-2-3-4前	4								兼1	
	ボランティア・キャリア体験 II	1-2-3-4後	4								兼1	
	ボランティア・キャリア体験 III	1-2-3-4前	4								兼1	
	ボランティア・キャリア体験 IV	1-2-3-4後	4								兼1	
	海外ボランティア実践演習 A	1-2-3-4前	2								兼1	
	海外ボランティア実践演習 B	1-2-3-4後	2								兼1	
	社会福祉と私たち	1-2-3-4前	2								兼1	
児童と家庭の福祉	1-2-3-4後	2								兼1		
国際協力論 A	1-2-3-4前	2								兼1		
国際協力論 B	1-2-3-4後	2								兼1		
社会活動におけるマネジメント A	1-2-3-4前	2								兼1		
社会活動におけるマネジメント B	1-2-3-4前 1-2-3-4後	2								兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)	
食農フィールド演習	1-2-3-4通 2-3-4通	4								兼2	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)	
食と環境	1-2-3-4前	2								兼1		
環境学のフロンティア	1-2-3-4後	2								兼1		

	観光文化論	1・2・3・4後		2																兼1		
	住居と人間	1・2・3・4通		4																兼1	学長交代に伴う科目の追加(28)	
	現代心理学概論	1・2・3・4通		4																兼1		
	パブリックリテラシー		1前	2																兼8	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
																				兼7		
	情報リテラシー		1後	2																兼8	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
																				兼7		
	ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通		4																兼1		
	メディア・デザインスキルA	2・3・4前後		2																兼1		
	メディア・デザインスキルB	2・3・4前		2																兼1		
	アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	2・3・4前		4																兼3		
	スポーツ・健康科学A	1・2・3・4前後		2																兼1		
	スポーツ・健康科学B	1・2・3・4前後		2																兼4		
	スポーツ・健康科学C	1・2・3・4前後		2																兼2		
	身体運動科学	1・2・3・4通		4																兼1		
	教養総合セミナーA	1・2・3・4後		2																兼1		
	教養総合セミナーB	1・2・3・4前後		2																兼1		
	教養総合セミナーC	1・2・3・4前		2																兼2		
	教養総合セミナーD	1・2・3・4後		2																兼1		
	教養総合セミナーE	1・2・3・4後		2																兼2	履修定員増加に伴い担当者を追加(28)	
																				兼1		
	教養総合セミナーF	1・2・3・4後		2																兼1		
	数と形の世界A	1・2・3・4後		2																兼1		
	数と形の世界B	1・2・3・4前		2																兼1		
	自然科学の世界A	1・2・3・4前		2																兼1		
	自然科学の世界B	1・2・3・4後		2																兼1		
	社会と倫理	1・2・3・4前後		2																兼1		
外国語科目	必修	総合英語 I		1前	1															兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
																				兼2		
		総合英語 II		1後	1																兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
																					兼2	
		総合英語 III		2前	1																兼2	
		総合英語 IV		2後	1																兼2	
		英語コミュニケーション I		1前	1																兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
																					兼1	
		英語コミュニケーション II		1後	1																兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
																				兼1		
	英語コミュニケーション III		2前	1																兼1		
	英語コミュニケーション IV		2後	1																兼1		
	英講読文法A		1通	2																兼1		
	選択	上級総合英語 I		3・4前		1															兼1	
		上級総合英語 II		3・4後		1															兼1	
		上級英語コミュニケーション I		3・4前		1															兼4	
		上級英語コミュニケーション II		3・4後		1															兼4	
		English for JFL Teachers I		3通		2															兼1	
		English for JFL Teachers II		4通		2															兼1	
		初級フランス語		2・3・4通		2															兼1	
		フランス語入門		1・2・3・4通		2															兼1	
		フランス語 I (文法・講読)		1通		2															兼4	
		フランス語 II (文法・講読)		2通		2															兼4	
フランス語 I (会話)			1通		2															兼4		
フランス語 II (会話)			2通		2															兼4		
ドイツ語 I A			1通		2															兼2		
ドイツ語 II A			2通		2															兼2		
ドイツ語 I B		1通		2															兼2			
ドイツ語 II B		2通		2															兼2			
中国語(初級)		1・2・3・4通		4															兼1			
中国語(中級)		2・3・4通		4															兼1			
韓国語(初級)		1・2・3・4通		4															兼1			
韓国語(中級)		2・3・4通		4															兼1			

学部 共通科目	子どものイメージ	1・2前	2		1							
	子どもとファンタジー	1・2後	2		1							
	子育て支援論	1・2前	2								兼1	
	発達と文化	1・2後	2								兼1	
	学校と発達	1・2前	2								兼1	
	家庭の教育・地域の教育	1・2後	2								兼1	
専門 科目	必修	児童文学入門A	1前後	2		1						
		児童文学入門B	1前後	2		1						
		児童文学史・日本Ⅰ	1前	2		1						
		児童文学史・日本Ⅱ	1後	2		1						
		児童文化入門A	1前後	2		1						
		児童文化入門B	1前後	2		1						
		児童文学史・英語圏Ⅰ	2前	2		1						
		児童文学史・英語圏Ⅱ	2後	2		1						
		卒業論文	4通	8		6		1				
		キャリア研究	2前	2		1						
	選択 必修Ⅰ	基礎演習A	2前	2		2		1	1			兼2
		基礎演習B	2後	2		2		1	1			兼2
	選択 必修Ⅱ	演習	3通	4		6		1				
	選択 A	日本児童文学研究A	1・2・3前	2								兼1
		日本児童文学研究B	1・2・3後	2								兼1
		英米児童文学研究A	1・2・3前	2								兼1
		英米児童文学研究B	1・2・3後	2								兼1
		伝承文学研究	1・2・3後	2		1						
		創作文化研究Ⅰ	1・2・3前	2				1				
		創作文化研究Ⅱ	1・2・3後	2				1				
		キャラクター文化研究	1・2・3後	2								兼1
		ストーリーテリング研究Ⅰ	1・2・3前	2								兼1
		ストーリーテリング研究Ⅱ	1・2・3後	2								兼1
		ストーリーテリング研究Ⅲ	1・2・3前	2								兼1
		わらべうた研究	1・2・3前	2								兼1
		マザーグース研究	1・2・3後	2								兼1
		絵本制作研究Ⅰ	1・2・3前	2								兼1
絵本制作研究Ⅱ		1・2・3後	2								兼1	
編集研究		1・2・3前	2								兼1	
出版演習Ⅰ		1・2・3前	2								兼1	
出版演習Ⅱ		1・2・3後	2								兼1	
アニメーション制作Ⅰ		1・2・3前	2				1					
アニメーション制作Ⅱ		1・2・3後	2				1					
選択 B	児童文学・日本A	1・2・3・4前	2								兼1	
	児童文学・日本B	1・2・3・4後	2								兼1	
	児童文学・日本C	1・2・3・4前	2								兼1	
	児童文学・日本D	1・2・3・4後	2								兼1	
	児童文学・ドイツA	1・2・3・4後	2		1							
	児童文学・ドイツB	1・2・3・4前	2								兼1	
	児童文学・イギリスA	1・2・3・4前	2					1				
	児童文学・イギリスB	1・2・3・4後	2								兼1	
	児童文学・フランスA	1・2・3・4前	2								兼1	
	児童文学・フランスB	1・2・3・4後	2								兼1	
	児童文学・アメリカA	1・2・3・4前	2								兼1	
	児童文学・アメリカB	1・2・3・4後	2								兼1	
	児童文学・カナダ	1・2・3・4前	2		1							
	児童文学・北欧	1・2・3・4前	2								兼1	
	児童文学・韓国	1・2・3・4後	2								兼1	
	児童文学・YA文学	1・2・3・4後	2		1							
	おもちゃ論A	1・2・3・4前	2		1							
	おもちゃ論B	1・2・3・4後	2		1							
	キャラクター論	1・2・3・4前	2								兼1	
	マンガ論	1・2・3・4後	2								兼1	

アニメ論	1-2-3-4前	2							兼1
絵本論	1-2-3-4後	2							兼1
創作演習A I	1-2-3-4前	2							兼1
創作演習A II	1-2-3-4後	2							兼1
創作演習B I	1-2-3-4前	2							兼1
創作演習B II	1-2-3-4後	2							兼1
翻訳演習 I	1-2-3-4前	2							兼1
翻訳演習 II	1-2-3-4後	2							兼1
伝承文学	2-3-4前	2		1					
SFファンタジー I	2-3-4前	2							兼1
SFファンタジー II	2-3-4後	2							兼1
ネオ・ファンタジー I	2-3-4前	2		1					
ネオ・ファンタジー II	2-3-4後	2		1					
児童文化・紙芝居	2-3-4前	2		1					
児童文化・民俗と子ども	2-3-4後	2							兼1
児童文化・子ども社会学	2-3-4前	2							兼1
児童文化・子ども論	2-3-4後	2							兼1
絵本演習 I	2-3-4前	2				1			
絵本演習 II	2-3-4後	2				1			
絵本制作 I	2-3-4前	2							兼1
絵本制作 II	2-3-4後	2							兼1

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
23	210	0	233	23	211	0	234	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
2	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
3	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
4	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
5	国際協力論B	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
6	社会活動におけるマネジメントA	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
7	食と環境	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
8	絵本論	2	1・2・3・4後	専門	選択	担当者病気療養中により休講、代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講1～7番の科目については、一般教養科目として他に多くの選択科目が設置されている。担当教員の病気療養により2016年度休講となっている「絵本論」は、1～4年次の学生が選択履修できる科目であるため、2017年度からの開講により学生全員が履修の機会を持つことができる。いずれも学生には履修要覧に記載するとともにガイダンスおよび電子掲示板等で周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	8	=	0.03
設置時の計画の授業科目数の計	233		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡				
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡				
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡				
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡				
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡				
(2) 校 舎	専 用	28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡				
	(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	39室	15室	10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合学部			29 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書 322,151 [109,025] (291,013 [105,719]) (296,036 [105,301]) 学術雑誌 5,756 [918] (4,457 [952]) (4,278 [894]) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため (28)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					点
	冊	種	[うち外国書]						
	人間総合学部	34,704 [7,914] (22,115 [6,597]) (23,644 [6,666])	171 [63] (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (113) (156)	91 (76)	0 (0)		
計	34,704 [7,914] (23,644 [6,666])	171 [63] (123 [39])	46 [36] (30 [20])	780 (156)	91 (76)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,769㎡		217		320,556				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,547㎡		テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	21,000千円 28,000千円	
		共同研究費等	3,000千円 4,000千円	3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	10,000千円 24,000千円	10,000千円 24,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—	—		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	平成28年学生募集停止
	年	人	年次人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.12	昭和40年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.17	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.14	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	昭和60年度	同上	
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	200	学士(児童文化学)	1.36	平成28年度	同上	
発達心理学科	4	50	-	200	学士(心理学)	1.24	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	300	学士(教育学)	1.02	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士(心理学)	0.65	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.91	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	1.33	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.50	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.41	平成7年度	同上	
博士課程									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士(心理学)	0.58	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士(文学)	0.77	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士(文学)	0.60	平成9年度	同上	
大学の名称	仙台白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人間学部									
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士(人間科学)	0.63	平成8年度	宮城県仙台市泉区本田町6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士(人間科学)	0.58	平成25年度	同上	
健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士(人間科学)	1.03	平成14年度	同上	
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士(人間科学)	0.80	平成25年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（**実地調査や面接調査を実施した日ではありません。**）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 児童文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
FD推進委員会
白百合女子大学FD推進委員会規程（添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
委員会は月1回、定期開催をする。全学的な委員会のため、教員は、各学科等を代表する者が参加する。

c 委員会の審議事項等
人間総合学部に関しては、これから審議事項を検討していきたい。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学生による授業アンケート
- ・ FDワークショップ
- ・ 学生を対象とした意見交換会（学部・大学院） 等

b 実施方法
学生による授業アンケートは、年2回（前期末・後期末）実施されている。FD研修会については、昨年度はアクティブ・ラーニングをテーマに事前アンケートを実施し、これを踏まえて行われた。学生を対象とした意見交換の場は、毎年開催しており、学部生対象のものと大学院生対象のものを隔年で実施している。これらを人間総合学部を含めた全学的な取り組みとして実施する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
今後の課題となっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員及び学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にweb公開している。また、教員には個別に結果を報告している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

児童文化学科は、その前身である児童文学・文化専攻の専門性をさらに深めるとともに、児童文化の分野を充実すべく、その趣旨に沿って「キャラクター文化研究」「絵本制作研究」などの科目を新設した。また、児童文学関係の科目では現代作品研究にも力を入れるなど、現代に生きる子どもを視野に入れた学びができるよう、内容の充実をはかった。入学試験では、一般入試で入学希望者数が読み切れず、予定より若干多い人数を入学させることになり、適正人数の確保が次年度への課題となった。一方で、学生とのコミュニケーションを重視したAO入試では、学科の趣旨を理解し、児童文化や文学の研究、創作に意欲的に取り組む有望な学生を確保することができた。全体として、熱心な入学生を得ることができ、今後の成長に大いに期待が持てるところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年5月16日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年5月16日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28 年 7 月 1 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(スズキ タダシ) 鈴木 忠 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 発達心理学科 学士(心理学)	4年	50人	- 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	50 (-) [-]	() []	1.24倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	297 (-) [-]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	282 (-) [-]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	146 (-) [-]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	62 (-) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.24			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] 62	[-] -		
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	62人	0人	平成28年度	0人	0人		0 %
合計	62人	0人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間総合学部 発達心理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
宗 教 学 科 目	キリスト教学Ⅰ	1通	2								兼4	
	キリスト教学Ⅱ	2通	2								兼4	
	宗教学ⅠB	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠC	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠD	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠE	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠF	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠG	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠH	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠI	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠJ	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠK	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠL	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠN	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠP	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠQ	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠR	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠS	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠT(キリスト教的教育実践法)	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠX	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠY	3通		2							兼1	
	宗教学ⅠZ	3通		2							兼1	
	宗教学ⅡB	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡC	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡD	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡE	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡF	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡG	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡH	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡI	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡJ	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡK	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡL	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡN	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡP	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡQ	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡR	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡS	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡT(キリスト教的教育実践法)	4通		2							兼1	
	宗教学ⅡX	4通		2							兼1	
宗教学ⅡY	4通		2							兼1		
宗教学ⅡZ	4通		2							兼1		
人間交流力構築演習A	2・3・4前		2								兼1	
人間交流力構築演習B	2・3・4後		2								兼1	
ルカ福音書講読演習A	2・3・4前		2								兼1	
ルカ福音書講読演習B	2・3・4後		2								兼1	
宗教と文学・思想演習A	2・3・4前		2								兼1	
宗教と文学・思想演習B	2・3・4後		2								兼1	
いのちと家族演習A	2・3・4前		2								兼1	
いのちと家族演習B	2・3・4後		2								兼1	

共通科目	文化と人間	1-2-3-4通	4							兼1	
	哲学	1-2-3-4通	4							兼1	
	現代思想 I	1-2-3-4前 1-2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	現代思想 II	1-2-3-4後	2							兼2	
	世界の中の日本思想	1-2-3-4通	4							兼1	
	美学	1-2-3-4通	4							兼1	
	美術史	1-2-3-4通	4							兼1	
	神話の世界A	1-2-3-4前	2							兼1	
	神話の世界B	1-2-3-4前	2							兼1	
	神話学入門 I	1-2-3-4前	2							兼1	
	神話学入門 II	1-2-3-4後	2							兼1	
	コンピュータ文学研究A	1-2-3-4通	4							兼1	
	コンピュータ文学研究B	1-2-3-4通	4							兼1	
	教養としての日本語	1-2-3-4後 2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	日本語を磨く(読解力を養う)	1-2-3-4前後	2							兼2	
	日本語を磨く(文章力を養う)	1-2-3-4前後	2							兼2	
	美しい日本語を話す(基礎)	1-2-3-4前 1-2-3前後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	美しい日本語を話す(実践)	1-2-3-4前後 2-3-4前後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	コミュニケーションのための日本語	1-2-3-4前後 1-2-3-4後	2							兼2	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	日本中世文化史	1-2-3-4通	4							兼1	
	日本近代文化史	1-2-3-4通	4							兼1	
	日本の外交と社会史	1-2-3-4前後	2							兼1	
	西洋史 I	1-2-3-4前	2							兼1	
	西洋史 II	1-2-3-4後	2							兼1	
	歴史からみた現代	1-2-3-4後	2							兼1	
	豊かさの中の経済	1-2-3-4前	2							兼1	
	暮らしと現代経済	1-2-3-4後	2							兼1	
	政治学A	1-2-3-4前	2							兼1	
	政治学B	1-2-3-4前	2							兼1	
	憲法	1-2-3-4前後	2							兼1	
	法とは何か	1-2-3-4前 1-2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	女性と社会A	1-2-3-4通	4							兼1	
	男女共同参画と政策	1-2-3-4通	4							兼1	
	犯罪学概論	1-2-3-4後 1-2-3-4前	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	女性と法	1-2-3-4前	2							兼1	
	子どもの権利と国際社会	1-2-3-4通	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験 I	1-2-3-4前	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験 II	1-2-3-4後	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験 III	1-2-3-4前	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験 IV	1-2-3-4後	4							兼1	
	海外ボランティア実践演習 A	1-2-3-4前	2							兼1	
	海外ボランティア実践演習 B	1-2-3-4後	2							兼1	
社会福祉と私たち	1-2-3-4前	2							兼1		
児童と家庭の福祉	1-2-3-4後	2							兼1		
国際協力論 A	1-2-3-4前	2							兼1		
国際協力論 B	1-2-3-4後	2							兼1		
社会活動におけるマネジメント A	1-2-3-4前	2							兼1		
社会活動におけるマネジメント B	1-2-3-4前 1-2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)	
食農フィールド演習	1-2-3-4通 2-3-4通	4							兼2	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)	
食と環境	1-2-3-4前	2							兼1		
環境学のフロンティア	1-2-3-4後	2							兼1		

	観光文化論	1・2・3・4後		2																	兼1		
	住居と人間	1・2・3・4通		4																	兼1	学長交代に伴う科目の追加(28)	
	現代心理学概論	1・2・3・4通		4																	兼1		
	パブリックリテラシー		1前	2																	兼8	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
																					兼7		
	情報リテラシー		1後	2																	兼8	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
																					兼7		
	ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通		4																	兼1		
	メディア・デザインスキルA	2・3・4前後		2																	兼1		
	メディア・デザインスキルB	2・3・4前		2																	兼1		
	アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	2・3・4前		4																	兼3		
	スポーツ・健康科学A	1・2・3・4前後		2																	兼1		
	スポーツ・健康科学B	1・2・3・4前後		2																	兼4		
	スポーツ・健康科学C	1・2・3・4前後		2																	兼2		
	身体運動科学	1・2・3・4通		4																	兼1		
	教養総合セミナーA	1・2・3・4後		2																	兼1		
	教養総合セミナーB	1・2・3・4前後		2																	兼1		
	教養総合セミナーC	1・2・3・4前		2																	兼2		
	教養総合セミナーD	1・2・3・4後		2																	兼1		
	教養総合セミナーE	1・2・3・4後		2																	兼2	履修定員増加に伴い担当者を追加(28)	
																					兼1		
	教養総合セミナーF	1・2・3・4後		2																	兼1		
	数と形の世界A	1・2・3・4後		2																	兼1		
	数と形の世界B	1・2・3・4前		2																	兼1		
	自然科学の世界A	1・2・3・4前		2																	兼1		
	自然科学の世界B	1・2・3・4後		2																	兼1		
	社会と倫理	1・2・3・4前後		2																	兼1		
外国語科目	必修	総合英語 I		1前	1																兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
																					兼2		
		総合英語 II		1後	1																	兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
																						兼2	
		総合英語 III		2前	1																	兼2	
		総合英語 IV		2後	1																	兼2	
		英語コミュニケーション I		1前	1																	兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
																						兼1	
		英語コミュニケーション II		1後	1																	兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
																					兼1		
	英語コミュニケーション III		2前	1																	兼1		
	英語コミュニケーション IV		2後	1																	兼1		
	英講読文法A		1通	2																	兼1		
	選択	上級総合英語 I		3・4前		1																兼1	
		上級総合英語 II		3・4後		1																兼1	
		上級英語コミュニケーション I		3・4前		1																兼4	
		上級英語コミュニケーション II		3・4後		1																兼4	
		English for JFL Teachers I		3通		2																兼1	
		English for JFL Teachers II		4通		2																兼1	
		初級フランス語		2・3・4通		2																兼1	
		フランス語入門		1・2・3・4通		2																兼1	
		フランス語 I (文法・講読)		1通		2																兼4	
		フランス語 II (文法・講読)		2通		2																兼4	
		フランス語 I (会話)		1通		2																兼4	
		フランス語 II (会話)		2通		2																兼4	
		ドイツ語 I A		1通		2																兼2	
		ドイツ語 II A		2通		2																兼2	
ドイツ語 I B			1通		2																兼2		
ドイツ語 II B			2通		2																兼2		
中国語(初級)			1・2・3・4通		4																兼1		
中国語(中級)			2・3・4通		4																兼1		
韓国語(初級)		1・2・3・4通		4																兼1			
韓国語(中級)		2・3・4通		4																兼1			

学部 共通科目	子どものイメージ	1前		2															兼1		
	子どもとファンタジー	1後		2															兼1		
	子育て支援論	1前		2		1															
	発達と文化	1後		2		1															
	学校と発達	1前		2															兼1		
	家庭の教育・地域の教育	1後		2															兼1		
専門 科目	必修 科目	心理学概論A	1前	2		1															
		心理学概論B	1後	2		1															
		発達心理学基礎演習A	1前	2		2	1														
		発達心理学基礎演習B	1後	2		2	1														
		心理統計学ⅠA	1後	2																兼1	
		臨床心理学概論	1後	2			1														
		発達心理学概論A	2前	2			1														
		発達心理学概論B	2後	2		1															
		発達臨床心理学概論	2前	2		1															
		心理学実験観察演習Ⅰ	2前	4		2	1			1											
		心理学実験観察演習Ⅱ	2後	4		1	1			2											
		心理統計学ⅠB	2前	2																兼1	
		心理統計学Ⅱ	2後	2																兼1	
		論文講読基礎演習	2前	2							3										
		英語論文講読演習	2後	2																兼3	
		キャリア研究	2後	2			2													兼1	
		心理学研究法演習Ⅰ	3前	2		2	1														
		心理学研究法演習Ⅱ	3後	2		2	1														
		選択 必修 科目	特講 科目	認知心理学	3・4前		2														兼1
				パーソナリティ心理学	3・4後		2														兼1
社会心理学	3・4前				2														兼1		
臨床心理学	3・4後				2														兼1		
教育心理学	3・4後				2														兼1		
発達心理学特講A	3・4前				2														兼1		
発達心理学特講B	3・4後				2														兼1		
発達心理学特講C	3・4前				2														兼1		
発達心理学特講D	3・4後				2														兼1		
精神医学特講	3・4前				2		1														
発達障害特講	3・4後				2		1														
発達臨床心理学特講A	3・4前				2															兼1	
発達臨床心理学特講B	3・4後			2															兼1		
演習 科目	発達心理学演習A		3・4後		2		1														
	発達心理学演習B		3・4後		2		1														
	発達心理学演習C		3・4前		2		1														
	発達心理学演習D		3・4前		2			1													
	発達心理学演習E		3・4前		2															兼1	
	発達心理学演習F		3・4後		2															兼1	
	発達心理学演習G		3・4前		2															兼1	
	発達心理学演習H	3・4後		2															兼2		
	発達心理学演習I	3・4前		2															兼1		
	発達心理学演習J	3・4後		2															兼1		
	発達心理学演習K	3・4前		2															兼1		
	発達心理学演習L	3・4後		2															兼1		
	心理検査法A	3・4前		2		1															
	心理検査法B	3・4後		2															兼1		
	臨床心理学演習A	3・4前		2			1														
	臨床心理学演習B	3・4後		2		1															
	臨床心理学演習C	3・4後		2		1															
	選択 科目	子ども観察	3・4前		2		1														
児童文化・民俗と子ども		3・4後		2															兼1		
児童文化・子ども社会学		3・4前		2															兼1		
児童文化・子ども論		3・4後		2															兼1		
	卒業論文	4通	8			6	2														

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものに赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	180	0	212	32	181	0	213	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
 - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
2	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
3	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
4	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
5	国際協力論B	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
6	社会活動におけるマネジメントA	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
7	食と環境	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講1～7番の科目については、一般教養科目として他に多くの選択科目が設置されている。学生には履修要覧に記載するとともにガイダンスおよび電子掲示板等で周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{7}{212} = 0.03$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡				
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡				
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡				
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡				
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡				
(2) 校 舎	専 用	28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡				
	(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	39室	15室	10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合学部			29 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書 322,151 [109,025] (291,013 [105,719]) (296,036 [105,301]) 学術雑誌 5,756 [918] (4,457 [952]) (4,278 [894]) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため (28)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					点
	冊	種	[うち外国書]						
	人間総合学部	34,704 [7,914] (22,115 [6,597]) (23,644 [6,666])	171 [63] (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (113) (156)	91 (76)	0 (0)		
計	34,704 [7,914] (23,644 [6,666])	171 [63] (123 [39])	46 [36] (30 [20])	780 (156)	91 (76)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,769㎡		217		320,556				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,547㎡		テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	21,000千円 28,000千円	
		共同研究費等	3,000千円 4,000千円	3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	10,000千円 24,000千円	10,000千円 24,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—	—		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	平成28年学生募集停止
	年	人	年次人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.12	昭和40年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.17	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.14	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	昭和60年度	同上	
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	200	学士(児童文化学)	1.36	平成28年度	同上	
発達心理学科	4	50	-	200	学士(心理学)	1.24	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	300	学士(教育学)	1.02	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士(心理学)	0.65	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.91	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	1.33	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.50	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.41	平成7年度	同上	
博士課程									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士(心理学)	0.58	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士(文学)	0.77	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士(文学)	0.60	平成9年度	同上	
大学の名称	仙台白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人間学部									
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士(人間科学)	0.63	平成8年度	宮城県仙台市泉区本田町6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士(人間科学)	0.58	平成25年度	同上	
健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士(人間科学)	1.03	平成14年度	同上	
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士(人間科学)	0.80	平成25年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年度)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 留意事項	教員組織の年齢構成を適正なものにすべく、将来構想について検討を始めた。	定年及び定年を超える教員の後任人事について、28年度及び29年度にかけて検討を行う。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 発達心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD推進委員会 白百合女子大学FD推進委員会規程（添付）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会は月1回、定期開催をする。全学的な委員会のため、教員は、各学科等を代表する者が参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等 人間総合学部に関しては、これから審議事項を検討していきたい。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による授業アンケート ・ FDワークショップ ・ 学生を対象とした意見交換会（学部・大学院）等 <p>b 実施方法 学生による授業アンケートは、年2回（前期末・後期末）実施されている。FD研修会については、昨年度はアクティブ・ラーニングをテーマに事前アンケートを実施し、これを踏まえて行われた。学生を対象とした意見交換の場は、毎年開催しており、学部生対象のものと大学院生対象のものを隔年で実施している。これらを人間総合学部を含めた全学的な取り組みとして実施する予定である。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 今後の課題となっている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 年2回（前期末・後期末）実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>教員及び学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にweb公開している。また、教員には個別に結果を報告している。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科では人間の生涯にわたる発達の一多様性を、社会文化的視点を交えて深く理解する人材を養成することを目指している。その目標のために、発達心理学の基礎的・専門的知識を身につけるとともに、実験や調査などの心理学の方法を学ぶことを通じて実証的・論理的思考力を養うことを目指している。その趣旨を実現すべく、1年次において新たに「発達心理学基礎演習A・B」を前後期にわたって設けるとともに、「心理学概論A・B」を従来の半期1コマから、前後期2コマにふやした。また、学部共通科目として、「発達と文化」「子育て支援論」の2つをおいた。それらを通じて、人間の発達への包括的な理解が学生の中で進みつつあることが期待される。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年5月16日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年5月16日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年7月1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 初等教育学科 学士(教育学)	4年	75人	- 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	75 (-) [-]	() []	1.02倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	286 (-) [-]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	273 (-) [-]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	145 (-) [-]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	77 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A							1.02			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] 77	[-] -	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	77人	0人	平成28年度	0人	0人		0 %
合計	77人	0人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<文学部 初等教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	その他	教授	准教授	講師	助教	助手	
宗 教 学 科 目	キリスト教学Ⅰ	1通	2									兼4
	キリスト教学Ⅱ	2通	2									兼4
	宗教学ⅠB	3通		2								兼1
	宗教学ⅠC	3通		2								兼1
	宗教学ⅠD	3通		2								兼1
	宗教学ⅠE	3通		2								兼1
	宗教学ⅠF	3通		2								兼1
	宗教学ⅠG	3通		2								兼1
	宗教学ⅠH	3通		2								兼1
	宗教学ⅠI	3通		2								兼1
	宗教学ⅠJ	3通		2								兼1
	宗教学ⅠK	3通		2								兼1
	宗教学ⅠL	3通		2								兼1
	宗教学ⅠN	3通		2								兼1
	宗教学ⅠP	3通		2								兼1
	宗教学ⅠQ	3通		2								兼1
	宗教学ⅠR	3通		2								兼1
	宗教学ⅠS	3通		2								兼1
	宗教学ⅠT(キリスト教的教育実践法)	3通		2								兼1
	宗教学ⅠX	3通		2								兼1
	宗教学ⅠY	3通		2								兼1
	宗教学ⅠZ	3通		2								兼1
	宗教学ⅡB	4通		2								兼1
	宗教学ⅡC	4通		2								兼1
	宗教学ⅡD	4通		2								兼1
	宗教学ⅡE	4通		2								兼1
	宗教学ⅡF	4通		2								兼1
	宗教学ⅡG	4通		2								兼1
	宗教学ⅡH	4通		2								兼1
	宗教学ⅡI	4通		2								兼1
	宗教学ⅡJ	4通		2								兼1
	宗教学ⅡK	4通		2								兼1
	宗教学ⅡL	4通		2								兼1
	宗教学ⅡN	4通		2								兼1
宗教学ⅡP	4通		2								兼1	
宗教学ⅡQ	4通		2								兼1	
宗教学ⅡR	4通		2								兼1	
宗教学ⅡS	4通		2								兼1	
宗教学ⅡT(キリスト教的教育実践法)	4通		2								兼1	
宗教学ⅡX	4通		2								兼1	
宗教学ⅡY	4通		2								兼1	
宗教学ⅡZ	4通		2								兼1	
人間交流力構築演習A	2・3・4前		2									兼1
人間交流力構築演習B	2・3・4後		2									兼1
ルカ福音書講読演習A	2・3・4前		2									兼1
ルカ福音書講読演習B	2・3・4後		2									兼1
宗教と文学・思想演習A	2・3・4前		2									兼1
宗教と文学・思想演習B	2・3・4後		2									兼1
いのちと家族演習A	2・3・4前		2									兼1
いのちと家族演習B	2・3・4後		2									兼1

共通科目	文化と人間	1・2・3・4通	4							兼1	
	哲学	1・2・3・4通	4							兼1	
	現代思想Ⅰ	1・2・3・4前 4-2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	現代思想Ⅱ	1・2・3・4後	2							兼2	
	世界の中の日本思想	1・2・3・4通	4							兼1	
	美学	1・2・3・4通	4							兼1	
	美術史	1・2・3・4通	4							兼1	
	神話の世界A	1・2・3・4前	2							兼1	
	神話の世界B	1・2・3・4前	2							兼1	
	神話学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2							兼1	
	神話学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2							兼1	
	コンピュータ文学研究A	1・2・3・4通	4							兼1	
	コンピュータ文学研究B	1・2・3・4通	4							兼1	
	教養としての日本語	1・2・3・4後 2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	日本語を磨く(読解力を養う)	1・2・3・4前後	2							兼2	
	日本語を磨く(文章力を養う)	1・2・3・4前後	2							兼2	
	美しい日本語を話す(基礎)	1・2・3・4前 1-2-3前後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	美しい日本語を話す(実践)	1・2・3・4前後 2-3-4前後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	コミュニケーションのための日本語	1・2・3・4前後 4-2-3-4後	2							兼2	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	日本中世文化史	1・2・3・4通	4							兼1	
	日本近代文化史	1・2・3・4通	4							兼1	
	日本の外交と社会史	1・2・3・4前後	2							兼1	
	西洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2							兼1	
	西洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2							兼1	
	歴史からみた現代	1・2・3・4後	2							兼1	
	豊かさの中の経済	1・2・3・4前	2							兼1	
	暮らしと現代経済	1・2・3・4後	2							兼1	
	政治学A	1・2・3・4前	2							兼1	
	政治学B	1・2・3・4前	2							兼1	
	憲法	1・2・3・4前後	2							兼1	
	法とは何か	1・2・3・4前 4-2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	女性と社会A	1・2・3・4通	4							兼1	
	男女共同参画と政策	1・2・3・4通	4							兼1	
	犯罪学概論	1・2・3・4後 1-2-3-4前	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	女性と法	1・2・3・4前	2							兼1	
	子どもの権利と国際社会	1・2・3・4通	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験Ⅰ	1・2・3・4前	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験Ⅱ	1・2・3・4後	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験Ⅲ	1・2・3・4前	4							兼1	
	ボランティア・キャリア体験Ⅳ	1・2・3・4後	4							兼1	
海外ボランティア実践演習A	1・2・3・4前	2							兼1		
海外ボランティア実践演習B	1・2・3・4後	2							兼1		
社会福祉と私たち	1・2・3・4前	2							兼1		
児童と家庭の福祉	1・2・3・4後	2							兼1		
国際協力論A	1・2・3・4前	2							兼1		
国際協力論B	1・2・3・4後	2							兼1		
社会活動におけるマネジメントA	1・2・3・4前	2							兼1		
社会活動におけるマネジメントB	1・2・3・4前 4-2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)	
食農フィールド演習	1・2・3・4通 2-3-4通	4							兼2	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)	
食と環境	1・2・3・4前	2							兼1		
環境学のフロンティア	1・2・3・4後	2							兼1		

	観光文化論	1・2・3・4後	2									兼1		
	住居と人間	1・2・3・4通	4									兼1	学長交代に伴う科目の追加(28)	
	現代心理学概論	1・2・3・4通	4									兼1		
	パブリックリテラシー	1前	2									兼0	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
	情報リテラシー	1後	2									兼0	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
	ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通	4									兼1		
	メディア・デザインスキルA	2・3・4前後	2									兼1		
	メディア・デザインスキルB	2・3・4前	2									兼1		
	アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	2・3・4前	4									兼0		
	スポーツ・健康科学A	1・2・3・4前後	2									兼1		
	スポーツ・健康科学B	1・2・3・4前後	2									兼4		
	スポーツ・健康科学C	1・2・3・4前後	2									兼2		
	身体運動科学	1・2・3・4通	4									兼1		
	教養総合セミナーA	1・2・3・4後	2									兼1		
	教養総合セミナーB	1・2・3・4前後	2									兼1		
	教養総合セミナーC	1・2・3・4前	2									兼2		
	教養総合セミナーD	1・2・3・4後	2									兼1		
	教養総合セミナーE	1・2・3・4後	2									兼2	履修定員増加に伴い担当者を追加(28)	
	教養総合セミナーF	1・2・3・4後	2									兼1		
	数と形の世界A	1・2・3・4後	2									兼1		
	数と形の世界B	1・2・3・4前	2									兼1		
	自然科学の世界A	1・2・3・4前	2									兼1		
	自然科学の世界B	1・2・3・4後	2									兼1		
	社会と倫理	1・2・3・4前後	2									兼1		
外国語科目	必修	総合英語 I	1前	1								兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
		総合英語 II	1後	1								兼2		
		総合英語 III	2前	1								兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
		総合英語 IV	2後	1								兼2		
		英語コミュニケーション I	1前	1								兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
		英語コミュニケーション II	1後	1								兼1		
		英語コミュニケーション III	2前	1								兼14	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
		英語コミュニケーション IV	2後	1								兼1		
		英講読文法A	1通	2									兼1	
		選択	上級総合英語 I	3・4前	1									兼1
	上級総合英語 II		3・4後	1									兼1	
	上級英語コミュニケーション I		3・4前	1									兼4	
	上級英語コミュニケーション II		3・4後	1									兼4	
	English for JFL Teachers I		3通	2									兼1	
	English for JFL Teachers II		4通	2									兼1	
	初級フランス語		2・3・4通	2									兼1	
	フランス語入門		1・2・3・4通	2									兼1	
	フランス語 I (文法・講読)		1通	2									兼4	
	フランス語 II (文法・講読)		2通	2									兼4	
	フランス語 I (会話)	1通	2									兼4		
フランス語 II (会話)	2通	2									兼4			
ドイツ語 I A	1通	2									兼2			
ドイツ語 II A	2通	2									兼2			
ドイツ語 I B	1通	2									兼2			
ドイツ語 II B	2通	2									兼2			
中国語(初級)	1・2・3・4通	4									兼1			
中国語(中級)	2・3・4通	4									兼1			
韓国語(初級)	1・2・3・4通	4									兼1			
韓国語(中級)	2・3・4通	4									兼1			

学部共通科目	子どものイメージ	1・2前	2									兼1	
	子どもとファンタジー	1・2後	2									兼1	
	子育て支援論	1・2前	2									兼1	
	発達と文化	1・2後	2									兼1	
	学校と発達	1・2前	2		1								
	家庭の教育・地域の教育	1・2後	2		1								
専門科目	コース共通専門科目	初等教育基礎演習A	2前	2		3	2	1					
	初等教育基礎演習B	2後	2		2	3	1						
	初等教育演習A	3前	2		1	3	1						
	初等教育演習B	3後	2		3	2	1						
	キャリア研究	2後	2									兼1	
	統計データの理解と活用	1前	2									兼1	
教科に関する科目	国語	1前	2		1								
	社会	1後	2		1								
	算数	1前	2			1							
	理科	1後	2			1							
	生活	1前	2		1								
	音楽	1前後	2			1							
	図画工作	1前後	2				1						
	家庭	1後	2									兼1	
	体育	1前後	2			1							
	音楽演習(器楽)	1・2・3・4前後	2									兼1	
	音楽演習(合唱)	2・3後	2									兼1	
	図画工作演習(造形・描画)	2・3後	2				1						
	体育演習(水泳)	2・3前	2									兼3	
	体育演習(体づくり・器械運動)	2・3後	2									兼1	
言語表現	1後	2				1							
コース共通科目	教職に関する科目	教育原理	1前	2								兼2 兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)
	教育心理学	1後	2		1								
	教育の制度と経営(幼・小)	1後	2									兼1	
	教育方法	2後	2		1							兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)
	教育実習(幼・小)	3通 3後～4前	4		4	1	1						
	教育実習(幼・小)事前事後指導	3通	1		3		1						
児童教育コース科目	教職に関する科目	教職論	1前	2		1							
	教育課程論	2前	2		4							兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)
	初等国語科指導法	1後	2		1								
	初等社会科指導法	2前	2		2								
	初等算数科指導法	1後	2			1							
	初等理科指導法	2前	2			1							
	初等生活科指導法	1後	2		2								
	初等音楽科指導法	2前後	2									兼1	
	初等図画工作科指導法	2前後	2									兼1	
	初等家庭科指導法	2前後	2									兼1	
	初等体育科指導法	2前後	2									兼1	
	道德教育	1後	2									兼1	
	特別活動	2後	2		1								
	生徒指導・進路指導	2後 3前	2		2 4							兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)
	教育相談(小)	3前 2後	2		4							兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)
	教職実践演習(小)	4後	2		3								
	教科又は教職に関する科目	教育体験 I	1後	1		1							
教育体験 II A		2前	1		2								
教育体験 II B		2後	1		2								
教育体験 III A		3前	1		1								
教育体験 III B		3後	1		1								
総合的な学習の時間		3・4後	2		1								
小学校外国語活動 I		3・4前	2									兼1	
小学校外国語活動 II		3・4後	2									兼1	
学級経営論		3・4前	2		1								

	学校経営と学校図書館	3・4前	2																	兼1		
	学校図書館メディアの構成	3・4前	2																		兼1	
	学習指導と学校図書館	3・4前	2																		兼1	
	読書と豊かな人間性	3・4後	2																		兼1	
	情報メディアの活用	3・4前	2																		兼1	
幼児教育コース科目	教職に関する科目	保育者論	1後	2				1														
		保育課程論	2前	2																		兼1
		保育内容総論	2通	4							1											兼1
		保育内容演習(健康)	3前	2					1													
		保育内容演習(人間関係)	3後	2																		兼1
		保育内容演習(環境)	3後	2																		兼1
		保育内容演習(言葉)	3後	2																		兼1
		保育内容演習(表現)	3前	2							1											
		幼児理解	3前	2							1											
		教育相談(幼)	3前 2後	2							4											兼1
		保育・教職実践演習	4後	2					1	1	1											
保育に関する科目	保育原理	1前	2					1														
	児童家庭福祉	1前	2					1														
	社会福祉	2後	2																			兼1
	相談援助	3前	2							1												
	社会的養護 I	1後	2							1												
	社会的養護 II	3前	2																			兼1
	保育の心理学 I	1後	2							1												
	保育の心理学 II	3前	2							1	1											
	子どもの保健 I	1通	4																			兼1
	子どもの保健 II	3後	1																			兼1
	子どもの食と栄養	2前	2																			兼1
	家庭支援論	2後	2																			兼1
	乳児保育	2前	2																			兼1
	障害児保育	3前	2																			兼1
	社会的養護内容	4前	2																			兼1
	保育相談支援	4前	2								1											
	保育体験 I	1後	1								1	1	1									
	保育体験 II A	2前	1								1		2									
	保育体験 II B	2後	1									1	2									
	保育実習 I	3通	4								2											
	保育実習指導 I A	2後	1								2											
	保育実習指導 I B	3前	1								2											
	保育実習 II	3前	2									1										
保育実習指導 II	3前	1									1											
保育実習 III	4前	2								1												
保育実習指導 III	4前	1								1												
隣接領域科目	介護等体験の事前事後指導	2前	2																		兼1	
	児童文化・子ども論	2・3・4後	2																		兼1	
	児童文学・日本C	1・2・3・4前	2																		兼1	
	児童文学・日本D	1・2・3・4後	2																		兼1	
	おもちゃ論A	1・2・3・4前	2																		兼1	
	絵本論	1・2・3・4後	2																		兼1	
	心理学概論A	1前	2																		兼1	
	心理学概論B	1後	2																		兼1	
	臨床心理学	3・4後	2																		兼1	
	発達心理学概論A	2前	2																		兼1	
	発達心理学概論B	2後	2																		兼1	
	発達臨床心理学概論	2前	2																		兼1	
	発達障害特講	3・4後	2																		兼1	
卒業研究	4通	4								5	4	2	0	0	0							

兼1 教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 65	科目 202	科目 0	科目 267	科目 65 [0]	科目 203 [1]	科目 0 [0]	科目 268 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
2	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
3	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
4	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
5	国際協力論B	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
6	社会活動におけるマネジメントA	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
7	食と環境	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
8	絵本論	2	1・2・3・4後	専門	選択	担当者病気療養中により休講、代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講1～7番の科目については、一般教養科目として他に多くの選択科目が設置されている。担当教員の病気療養により2016年度休講となっている「絵本論」は、1～4年次の学生が選択履修できる科目であるため、2017年度からの開講により学生全員が履修の機会を持つことができる。いずれも学生には履修要覧に記載するとともにガイダンスおよび電子掲示板等で周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	8	=	0.02
設置時の計画の授業科目数の計	267		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡				
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡				
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡				
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡				
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡				
		(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	39室	15室	10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		人間総合学部		29 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 322,151 〔109,025〕 (291,013〔105,719〕) (296,036 〔105,301〕) 学術雑誌 5,756〔918〕 (4,457〔952〕) (4,278〔894〕) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため(28)	
	人間総合学部	34,704〔7,914〕 (22,115〔6,597〕) (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (154〔54〕) (123〔39〕)	46〔36〕 (31〔21〕) (30〔20〕)	780 (113) (156)	91 (76)	0 (0)		
	計	34,704〔7,914〕 (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (123〔39〕)	46〔36〕 (30〔20〕)	780 (156)	91 (76)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,769㎡		217		320,556				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	1,547㎡		テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	21,000千円 28,000千円	
		共同研究費等	3,000千円 4,000千円	3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	10,000千円 24,000千円	10,000千円 24,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	平成28年学生募集停止
	年	人	年次人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.12	昭和40年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.17	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士(文学)	1.14	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	昭和60年度	同上	
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	200	学士(児童文化学)	1.36	平成28年度	同上	
発達心理学科	4	50	-	200	学士(心理学)	1.24	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	300	学士(教育学)	1.02	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士(心理学)	0.65	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.91	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	1.33	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.50	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士(文学)	0.41	平成7年度	同上	
博士課程									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士(心理学)	0.58	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士(文学)	0.77	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士(文学)	0.60	平成9年度	同上	
大学の名称	仙台白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人間学部									
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士(人間科学)	0.63	平成8年度	宮城県仙台市泉区本田町6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士(人間科学)	0.58	平成25年度	同上	
健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士(人間科学)	1.03	平成14年度	同上	
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士(人間科学)	0.80	平成25年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 初等教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
FD推進委員会
白百合女子大学FD推進委員会規程（添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
委員会は月1回、定期開催をする。全学的な委員会のため、教員は、各学科等を代表する者が参加する。

c 委員会の審議事項等
人間総合学部に関しては、これから審議事項を検討していきたい。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学生による授業アンケート
- ・ FDワークショップ
- ・ 学生を対象とした意見交換会（学部・大学院）等

b 実施方法
学生による授業アンケートは、年2回（前期末・後期末）実施されている。FD研修会については、昨年度はアクティブ・ラーニングをテーマに事前アンケートを実施し、これを踏まえて行われた。学生を対象とした意見交換の場は、毎年開催しており、学部生対象のものと大学院生対象のものを隔年で実施している。これらを人間総合学部を含めた全学的な取り組みとして実施する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
今後の課題となっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員及び学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にweb公開している。また、教員には個別に結果を報告している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

4月1日を期して初等教育学科には定員を上回る77名の1年生が入学した。内訳は、児童教育コース履修者25名、幼児教育コース履修者52名で、これも計画段階で想定していた人数とほぼ重なる結果であった。学科設置の趣旨として第一に掲げた、専門職業人としての小学校教諭、幼稚園教諭・保育士の養成が、社会に強く求められている証しであろうと考えている。また、教員養成・保育士養成の大学・短大がひしめく首都圏において、将来の教師・保育者として社会に貢献していこうとする熱意にあふれた学生達の入学が得られたことは、建学の精神に掲げるカトリシズムに基づく教育理念と、知性と感性の調和のとれた女性の育成を目指す教育目標が評価されたものと受け止めている。

計画した教育課程の実施については、まだその端緒についたばかりだが、1年次前期の科目をすべて開講し、順調に教育活動を開始することができた。学生の授業に臨む態度も申し分なく、今後の成果がますます期待されるところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年5月16日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年5月16日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年7月1日)